

おおだて 市立総合病院・市立扇田病院

病院だより

第15号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2015.4

No.15

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)





市立総合病院
院長
たておかくま ひろし博
館岡博

記録的な豪雪に見舞われた冬から春になりつつありますが、皆様いかがお過ごしでしたか。

さて、この春より呼吸器外科が新設となり、肺の手術が可能となる為、がん治療に関しては皆様へのご期待に添えるものと思っております。

しかしながら当院の一部の診療科でも医師不足という嵐に巻き込まれ、皆様にはご不便をおかけすることになるかもしれません。

当院のような地方の病院は主に大学（当院は主に弘前、秋田大学）からの派遣によって医師が構成されています。現在は大都市に医師が流出し地方の各大学で医師不足が起っています。その影響は当院にも及んでおり、医師に欠員が出た場合でも大学からの補充が極めて困難な状況になっています。医師数の減少は他の医師への負担増大や疲弊をもたらし、その結果さらに医師が病院から去ってしまうという悪循環が起り、最終的には地域医療の崩壊につながるということが起きかねません。

このような状況の中、当院の医師達は地域医療を守ろうという気概をもって日夜奮闘しております。どうか市民の皆様もこのような状況をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い致します。



市立扇田病院
院長
おおもと なおき大本直樹

除雪に明け暮れた豪雪の冬が過ぎ去り、希望あふれる四月がやって来ました。当院では、新年度から自治医大卒業の笹渕先生に代り、同大学卒業の高山先生が着任しました。先生は和歌山県出身で、本人は言葉（方言）の心配をしていますが、持ち前の熱意で言葉の壁をクリアしてくれると思っております。みなさん、先生とドンドンお話をして、素敵な大館弁を教えてください。

さて、市民のみなさまに明るい話題を提供いたします。当院では常勤医師の退職に伴い平成二十五年度より眼科を休診していましたが、本年七月から眼科外来を再開することになりました。以前お世話になっていた東京医科歯科大学眼科学教室の先生方が診療に当たります。東京でも眼科医は不足しているようですが、「大館には良い想い出があり、診療に行くのが楽しみです」と言ってくださる先生方がおり、同大学教授の御高配で実現することになりました。眼科を待望する市民の皆様のため、七月までに準備を進めてまいりますのでよろしく願います。

紹介 します

リハビリテーション科



リハビリテーション科では、さまざまな理由により日常生活が困難になったかたに対して、スムーズな社会復帰のためのサポートをしています。当科には理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士2名がおり、それぞれが専門性を活かし、協力して患者さんのリハビリを進めています。また、栄養サポート・緩和ケア・褥瘡（床ずれ）対策・転倒予防・糖尿病教室などさまざまな領域において、チームの一員として各スタッフが活躍しています。そのほかに市民向けの講座を開催するなど日々の診療業務以外の活動にも積極的に取り組んでいます。

治療は入院・外来ともに月曜日から金曜日まで、外来は予約制とさせていただきます。また、昨年8月からは休日のリハビリ提供を開始し、一部の入院患者さんには土曜日にもリハビリを実施しています。今後も医師や看護師などの他職種のスタッフとともに、みなさんのお役に立てるように頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

（文責 リハビリテーション科 理学療法士 豊口 卓）



病院ホームページ 「看護部通信」をご存知ですか？

看護部では、看護広報委員会を平成25年度から立ち上げ、看護師の様々な取り組みを市民の皆さんに紹介しています。

病院ホームページの「病院概要」から「看護部」をクリックすると看護部からの情報をご覧いただくことができます(下記のURLからもアクセスできます)。看護部通信はページの一番下に掲載されていますが、約3か月に1回のペースで更新しています。

これまでには新人看護師の紹介や、看護研究発表の取り組み、インターンシップ活動、ふれあい看護体験、看護の日フェアの様子などを紹介してきました。

今後も看護活動をご理解していただくとともに、「将来看護師になって大館市立総合病院で働きたい」と希望されるかたがひとりでも増えてくれることを願い、看護の魅力を発信し続けていきたいと思っています。

皆さん、是非アクセスしてみてください。



看護部のページ <http://www.odate-hp.odate.akita.jp/out/nrs/index.html>

お薬のいろんな疑問にお答えします。



くすりのかたち その①

薬には内用薬、外用薬、注射薬などのさまざまな形があります。形が違うのは、年齢や病気の症状に応じて、薬の効果を十分に発揮できるようにさまざまに工夫しているためです。

全3回に分けて、主な薬の形についてお伝えします。

●錠剤

薬の原料を円盤状等に圧縮加工したものです。特殊加工されている薬もあり、水なしでも口の中で溶けるもの(口腔内崩壊錠)や、少しずつ溶け出し

て作用持続時間を長くするもの(徐放錠)などがあります。

●カプセル

ゼラチン質で作られており、苦みの強いものやにおいの強い粉末などが入っています。

●散剤

いわゆる粉薬です。1～数種類の薬を混ぜたりします。小児や高齢者など錠剤を飲みこみにくいかたでも飲みやすい形です。

●顆粒剤

散剤より粒が一周りくらい大きいものです。粒を薄い膜で覆い、作用持続時間を長くするために加工されたものもあります。



ポータブル撮影装置を 導入しました

総合病院では、最新の“回診用” X線撮影装置を導入し、今年の1月から使用を開始しています。患者さんにとってはあまり馴染みのない装置だとは思いますが、回診用 X線撮影装置とは、撮影室までの移動が困難な患者さん（手術後間もない患者さんや感染症の患者さんなど）の撮影を行う装置で、ポータブル撮影装置とも呼びます。



救急室での撮影の様子です

従来の装置では撮影を行った後、X線撮影室の専用装置で読み取りをしなければ画像が確認できず、撮影してから画像を確認するまで数分の時間を要しました。しかし、新しく導入された装置には最新のFPD（フラットパネルディテクタ）が搭載されており、撮影後短時間でその場での画像確認が可能です。これにより、より早い診断や処置が可能になりました。とりわけ緊急性の求められる救急医療では、この装置を使用することにより次の処置に必要な情報が直ちに得られ、迅速な対応につながります。

消防訓練を実施しました

総合病院では、2月18日に約30人が参加して消防訓練を行いました。病院には消防法により年2回の消防訓練の実施が義務づけられており、今回はその2回目になります。

訓練は9病棟で火災が発生したという想定で、実際に煙感知器を作動させ、消防署への通報や消火訓練、模擬患者の避難誘導などを行ったほか、火災報知器や消防設備の動作確認も併せて行い、トラブルなく終了しました。

これからも火災を含む災害等が発生した際に迅速に適切な対応をとれるよう、定期的に訓練を実施し、職員の防災意識の向上を図っていきます。



浴室での放水訓練の様子です

「患者さんの声」より

当院に寄せられたご意見を紹介していきます。

大きいサイズのコインロッカーの設置はできないでしょうか。

今あるコインロッカーは小さいうえに、いつも使用中です。タオルやおむつなどの大きな荷物がある時、大きなコインロッカーがあると本当に助かります。(昨年5月に投函されたかたのご意見)

病院から

ご不便をおかけして申し訳ございません。大型のコインロッカーの設置について検討を重ねましたが、設置場所の確保ができず、また既設のものと交換することによりロッカーの数が減るため、かえってご不便をおかけするおそれがあることがわかりました。現在ロッカーは20個あり、午前中の混雑時でも若干空きがある状況です。使用後はお金が戻るタイプのロッカーですのでご利用ください。

なお、来院者の利便のためのコインロッカーですので、長期にわたるご使用は控えていただくようお願いいたします。

診察時にメモを渡したことをカルテに記載されたのですが…

診察の際、聞きたいことをメモして医師に渡すとカルテに「メモを出した」と書かれたことがありました。限られた時間の中で次回の診察日まで不安を溜めたくないでそうしたのです。このような患者は病院にとっては迷惑なのでしょうか。(昨年7月に投函されたかたのご意見)

病院から

ご意見ありがとうございます。いざ診察の時にになると、医師に聞きたいと思っていたことを忘れて、うまく症状を伝えられなかったりということがよくあります。そんな時、事前に紙に書くことは患者さん自身が自分の考えを整理でき、緊張せずに診察に臨めることにつながります。また、医師が患者さんの症状や考えを理解しやすいという利点もあります。

当院では各外来に「医者にかかる10か条」を掲示しております。限られた診察時間を有効に使い、安心して治療に向かうことができるよう、積極的にご利用ください。

検査の待ち時間に先生に声をかけていただき、うれしく感じました。

先日夕方、検査のため外来を訪れました。浮かない気持ちで待っていると、通りがかった医師が「もしかして具合が悪いの？大丈夫？」と声をかけてくれました。優しい言葉をかけていただき、とてもありがたかったです。このようなスタッフが増えることを願っています。(昨年12月に投函されたかたのご意見)

病院から

心温まるご意見ありがとうございます。このようなご意見は私たち職員にとって大変励みになります。何気ない声かけであっても、患者さんにとっては不安な気持ちが軽くなったり安心できたりするものです。今後も患者さんの気持ちに寄り添った温かな対応を心がけてまいります。

ボランティアの方々のお手伝いが非常にありがたいです。

院内ボランティアのかたが、玄関先で車椅子に乗る手伝いをしてくれたり、外来に連れて行ってくださったりしてくれて、細やかな心配りがとてもありがたいと感じます。もっとボランティアのかたが増えてくれたら、ひとりで受診する際にも心強いなあと思います。(昨年6月に投函されたかたのご意見)

病院から

ご意見ありがとうございます。当院では現在3名が院内ボランティアとして登録されています。それぞれの都合のよい日時に来ていただき、自発的に外来患者さんのお手伝いをしていただいています。今までにも、患者さんや付き添いのご家族から「とても助けられた」「優しい心が感じられてうれしかった」などの感謝の言葉をいただいています。

当院では院内ボランティアを募集しております。興味のあるかたはぜひお問い合わせください。

☎相談支援センター ☎0186-42-5370(正面玄関隣り)

扇田病院です!

リハビリテーション室



リハビリテーションには専門職種として理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がありますが、扇田病院には理学療法士2人が配置されています。

私たち理学療法士は日頃の業務として、以下のような物理療法・運動療法を行っています。

- ①温熱治療・水治療・電気治療といった物理療法を用いて消炎・鎮痛を促す
- ②他動的・自動的な運動や体操を指導し、運動機能の回復・向上を図る運動療法を行う

また、入院患者さんの退院後の日常生活活動を支援するため、福祉用具・住環境・在宅ケアの調整などもソーシャルワーカーやケアマネージャーとともにお手伝いさせていただいています。

個々の患者さんの様々なニーズや希望に寄り添い、よりよいサポートができるように、小さいながらもコツコツと日々の業務に励んでいます。

「簡易脳ドック」を始めました。

当院では、脳血管障害や脳腫瘍を早期に発見して治療へつなげるため、要望が多かった脳の検査を比較的手軽にご利用いただける簡易脳ドックを4月から実施します。

脳疾患が気になる、近親者に脳卒中・脳腫瘍の経験者がいる、50歳以上であるなどの条件に当てはまるかたには検査をお勧めします。健診の内容は以下のとおりです。

実施曜日・受入人数

月・水・金…3名(午後) 火・水…1名(午前)
※祝日、年末年始を除きます

健診内容

MR I・MRA(脳の断面と脳血管撮影)、
動脈硬化・血管年齢測定、血圧測定、健康調査

所要時間

1時間程度

健診費用

21,600円(税込)

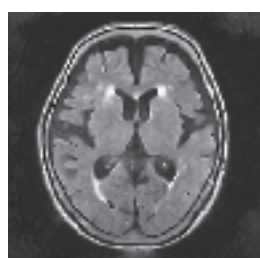
お申し込みについては電話もしくは来院した際に職員までお問い合わせください。

健診の結果は3週間程度で郵送されます。

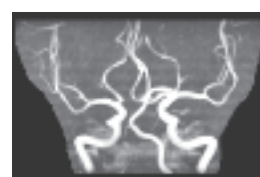
申・問 扇田病院 健診担当 ☎0186-55-1255



MRI装置



MRI画像



MRA画像

外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	初診 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考	
呼吸器・循環器内科	新患	9:30まで	休診	呼吸器 新患 9:30まで 再来 11:00まで	呼吸器 休診 循環器 新患 休診 再来 11:00まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。新患の受付については左表のとおりです。(注※1)	
	再来			循環器 休診				
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。	
内分泌・代謝 神経内科		甲状腺 診療		甲状腺 診療	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。神経内科の受付は再来のみとなっています。	
小児科								
神経精神科	新患	10:00まで						新患は原則として紹介状が必要です。
	再来							
外科・呼吸器外科							(注※2)	
産婦人科								
眼科	新患	9:30まで	9:30まで	9:30まで	休診	休診	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来				9:30まで	予約のみ		
耳鼻咽喉科								
整形外科		10:00まで(火曜日は再来のみ)						新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。
泌尿器科		予約のみ						新患は原則として紹介状が必要です。
皮膚科				休診	再来予約のみ		木は再来予約のみの受付となります。	
脳神経外科	新患	10:30まで						新患は原則として紹介状が必要です。
	再来							
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。	
歯科口腔外科・ 矯正歯科							再来は予約制。	

上記の表は3月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

◎新患はできるだけ紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いしています。

◎この表における紹介状とは、医療機関から発行される診療情報提供書のことを指します。

(注※1)問診等の結果により後日改めての診察となる場合がありますのでご了承ください。

(注※2)総合病院では平成27年4月より呼吸器外科を開設いたしますが、診療時間・受付時間等につきましては表中の記載から変更になる場合があります。受診の際は事前にお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科・外科	午前	8:30～11:00						
	午後	急患のみ						
	夕やけ(午後)	5:00～6:30	休診	5:00～6:30	休診	5:00～6:30		
整形外科	午前	休診	休診	休診	休診	8:30～11:00		
耳鼻咽喉科	午後	1:30～3:00	休診	休診	休診	休診		
眼科				休診			7月より再開予定です。詳細については後日ホームページなどでお知らせします。	

総合病院からのお知らせ

●眼科からのお知らせ

4月1日より常勤医不在のため、月～木曜日の受付時間を9:30で終了させていただきます。また、毎週木・金曜日は新患受付を行わないほか、金曜日の再来については予約患者のみの受付となります。ご不便をおかけしますがご了承願います。

●呼吸器・循環器内科からのお知らせ

4月1日より、毎週木曜日は呼吸器内科を休診とさせていただきます。ご不便をおかけしますがご了承願います。なお、循環器内科の受付日などについて変更はありません。

食事と⑦ 病気予防

減塩について

おいしい要素を「足す」減塩

減塩のために「薄味」を意識した食事は、味気なさを感じてしまいます。

塩分を「引き算」しながら、塩味を補う味を「足し算」しておいしく減塩をしてみましょう。

- ① 香辛料を足す
…胡椒・わさび・唐辛子
 - ② 香味野菜・ハーブを足す
…しそ・にんにく・みょうが
 - ③ 酸味を足す
…酢・レモン・すだち
 - ④ うま味を足す
…昆布だし・鰹だし
 - ⑤ カリウムを足す
…根菜・きのこ・ほうれん草
- カリウムは塩分の体外排出を促します

塩分の目標量に変更に

「日本人の食事摂取基準」(厚生労働省)が改定され、塩分の目標量が大きく変わりました。

◆男性： 9g → 8g /日

◆女性： 7.5g → 7g /日

これに伴い、大館市立総合病院・扇田病院の給食も9g→8g/日に変更します。(平成27年4月～)

根菜たっぷり 春の味噌汁



具材がたっぷりで汁自体の量を減らして減塩。

さらにカリウムたっぷりで、だしの旨味・生姜の風味を足した味噌汁です。

材料(2人分) ※1杯分/塩分0.9g

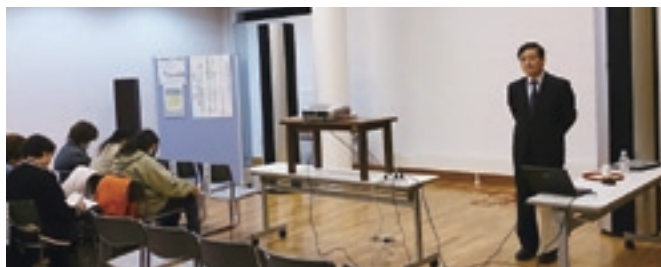
大根	80g	人参	30g
ごぼう	25g	こんにゃく	25g
かぶ	25g	サラダ油	小さじ1
だし汁	250ml	味噌	小さじ2(12g)
絹さや	20g	生姜(すりおろし)	5g

作り方

- ①根菜とこんにゃくは1cmの角切りにし、こんにゃくは湯通ししておく。
- ②小なべにサラダ油を熱し、①を良く炒め、だし汁を加え火が通るまで蓋をして弱火で煮る。
- ③絹さやを加えさっと煮、味噌をとく。盛り付けたら生姜を添える。

地域連携感染対策セミナーを開催しました

3月4日に、東北大学大学院医学系研究科(微生物学分野)の押谷^{おしたに} 仁^{ひとし}教授を招き、地域連携感染対策セミナーを開催しました。「グローバルからローカルへの感染症対策」をテーマとして、WHO(世界保健機関)のエボラウイルス対策チームに参加した経験に基づいた様々な感染症の対策・予防などについて、約1時間の講演を行いました。当日は院外からの聴講者も含め、約80名が参加しました。



編集 後記

雪投げばかりしていた冬もようやく終わり、暖かい春が近づいてきました。4月には別れもありますが、新たな出会いもあります。当院にも多くの研修医が学びに来てくれて、また新たな科が新設されるなど、今後の当院の発展を思うと心が躍ります。私も新戦力に負けないよう、気持ちを新たに診療に取り組む次第です。

さて、今号の素敵な表紙も市内豊町の富樫 弘さんに提供していただきました。一足早い春を皆様にお届けできればと思います。
(編集委員長 田辺 壽太郎)